令和８年 11 月６日
沖縄行政評価事務所

報道資料

報道・取材依頼

くらしの中に 総務省
MIC Ministry of Internal Affairs and Communications

宜野湾市で「郵便局等との懇談会」を開催
～地域の「埋もれたお困りごと」の発掘と解決支援～

◆ 総務省では、令和５年３月 31 日に「郵便局を活用した地方活性化方策のとりまとめ」を公表し、全国津々浦々に約 24,000 の窓口拠点を有する郵便局の持つ強みを活かした地方活性化方策を推進することとしています。

◆ その方策の一つとして、総務省行政評価局では、『地域の「埋もれたお困りごと」の発掘と解決支援』を行うこととし、全国の管区行政評価（支）局、行政評価事務所、行政監視行政相談センターにおいて、地域のお困りごとを行政相談につなぐために、郵便局、市町村、地域のキーパーソン、行政相談委員等が参加する懇談会等を開催し、対応が難しい地域の行政課題について関係者で認識を共有し、課題解決に向けて「協働」することとしています。

◆ 総務省沖縄行政評価事務所では、令和５年度から地域の「お困りごと」の解決を図るため懇談会を開催しており、５年度は南城市、６年度はうるま市、７年度は名護市、そして、今年度は宜野湾市において、同市内の郵便局、自治会長、宜野湾市、宜野湾市社会福祉協議会及び行政相談委員が参加して、地域の「お困りごと」の解決を図るため懇談会を開催します。

【日 時】令和８年 11 月 12 日（木）10:00～12:00

【場 所】宜野湾市役所多目的会議室

【参加機関等】 宜野湾郵便局長、真志喜郵便局長、宜野湾市愛知区自治会長、宜野湾市普天間３区自治会長、宜野湾市、宜野湾市社会福祉協議会、行政相談委員、沖縄行政評価事務所

【内 容】

○ 地域の課題等に対する意見交換

※ 懇談会冒頭、挨拶については取材可。結果については懇談会終了後、取材に応じます。



総務省行政相談センター
きくみみ沖縄

照会先：沖縄行政評価事務所行政相談課
行政相談課長　新井
委員係長　伊藤
電　話：098-866-0148

参考

過去の懇談会における主な意見・要望

【令和６年度】（開催地：うるま市）

- １年以上前、道路整備工事のため市内の道路上のカーブミラーが取り外されたが、工事終了後なかなか元に戻してくれないので早く戻してほしい。（自治会長）
- 地域に 123 基ある防犯灯は、LED で約 10 年が経過して交換時期だが、維持管理費が不足して交換できずに困っている。（自治会長）
- 県道沿いの街路樹は植えてから 30～40 年経過して大きくなり過ぎている。このため、歩道にひび割れができており、つまずく人も多く、散歩中の高齢者が転倒する事例も発生しており、早急な対策が必要である。（自治会長）

【令和７年度】（開催地：名護市）

- 津波等の災害発生時において、保育園職員だけでは園児の避難誘導が困難であることから、郵便局や企業等を含めた地域全体での避難支援体制の構築や、避難訓練・防災研修の充実が必要である。（郵便局長）
- 高齢化や移住者の増加に伴い、地域とのつながりが希薄な高齢者や独居高齢者が増加している。孤独死の事例もあり、郵便局、民生委員、社会福祉協議会等による見守りや情報共有の仕組みづくりが課題となっている。（自治会長、郵便局長）
- 高齢者や障がい者、ひとり親世帯など住まいの確保が困難な方が増えている。住宅不足や家賃高騰も背景にあり、行政、不動産関係者、地域団体等が連携した住居確保支援体制の強化が求められている。（社会福祉協議会、自治会長等）
- 夜間の安全確保のための街灯設置、交通安全のためのカーブミラー設置、不法投棄対策、住居表示の拡大など、地域の生活環境の改善に関する要望が寄せられた。（郵便局長、区長等）

⇒両年度とも、上記課題について、参加者で意見を交換し、認識を共有

